

2022年11月6日(日)午前10時30分

《降誕節第7主日・永眠者記念礼拝》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讃美歌21』
を

前奏	
招詞	詩編 24 編 9～10 節
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	* 下記をご覧ください。
讚美	493※1, 2のみ (いつくしみ深い) **
交読	『交読詩編』 105:1～11 (119 頁、上段「主に感謝をささげて…」)
信仰告白	日本基督教団信仰告白*2 ページ目をご覧ください。
聖書	旧約 ヨブ記 1:20～22 (旧約 776 頁) 新約 コリントの信徒への手紙一 8:6 (新約 309 頁)
祈り	
讚美	385※1, 4のみ (花彩る春を) **
説教	『神から貸し与えられた命』 疋田國磨呂 牧師
祈り	
讚美	111※1, 2のみ (信じて仰ぎ見る) **
聖餐	疋田義也 牧師
感謝の祈り	
讚美	81※奏楽のみです (主の食卓を囲み)
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	** 讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

日本基督教団信仰告白

われ しん こくはく
我らは信じかつ告白す。

きゆうしんやくせいしよ かみ れいかん な あかし ふくいん しんり
旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理
しめ きょうかい よ ゆいいつ せいてん せいしよ せいれい
を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊に
かみ すくい まった ちしき われ あたう かみ
よりて、神につき、救ひにつきて、全き知識を我らに与ふる神の
ことば しんこう せいかつ あやま きはん
言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

しゅ けいじ せいしよ あかし
主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる
ゆいいつ かみ ちち こ せいれい さんみいつたい かみ まう
唯一の神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神にていましたまふ。
み こ われ つみびと すく ひと な じゅうじか
御子は我ら罪人の救ひのために人と成り、十字架にかかり、ひとた
おのれ まった いけにえ かみ われ あがない え
び己を全き犠牲として神にささげ、我らの贖ひとなりたまへり。
かみ めぐ われ えら しん しんこう われ
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我
つみ ゆる ぎ もう かわ めぐ せいれい
らの罪を赦して義としたまふ。この変らざる恵みのうちに、聖霊は
われ きよ ぎ み むす みわざ じょうじゆ もう
我らを潔めて義の果を結ばしめ、その御業を成就したまふ。

きょうかい しゅ からだ めぐ め もの つどい
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。
きょうかい おおやけ れいはい まも ふくいん ただ の つたえ しゅ ばんさん
教会は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマと主の晩餐
せいれいてん と おこな あい はげ しゅ ふたた きた もう ま
との聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待
のぞ
ち望む。

われ しん よよ せいと とも しとしんじょう こくはく
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくぐり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン。